

資料 1 - 2
科学技術・学術審議会
人材委員会（第85回）
R1.05.14

科学技術・学術審議会人材委員会 （第85回）

高等学校における博士人材の活用

令和元年 5月14日（火）

静岡県教育委員会



子どもと共に描く
わたしの夢 ¹
ふじのくにの未来

ふじのくに

「住んでよし訪れてよし」

「生んでよし育ててよし」

「学んでよし働いてよし」



3

静岡県は金魚の形？



面積 7,777.42km² 人口 3,659千人 (全国10位)

富士山 3,776m 駿河湾 2,500m

東京←→静岡 61分 (新幹線ひかり)

静岡県を目指す教育

「有徳の人」づくり

- ◆自らの資質・能力を伸長し、個人として**自立**した人
- ◆多様な生き方や価値観を認め、**人との関わり合い**を大切に
する人
- ◆社会の一員として、よりよい社会づくりに**参画**し、
行動する人

静岡県が求める教師像

学び続ける教員

- 児童・生徒への教育的愛情
- 教科等に関する専門的知識
- 教育者としての使命感
- 人間の成長・発達についての深い理解
- 広く豊かな教養 **これらに基づいた実践力**

静岡県の教員採用選考試験（今年度実施）

1次試験

7月6日（土）、7日（日）

筆記試験（教職一般教養＋教科専門）

面接試験（個人面接） 適性検査

実技試験（保体、芸術）

2次試験

8月19日（月）～21日（水）

小論文 面接試験（個人、集団）

実技試験（家庭、英語） 適性検査

平成31年度教員採用選考試験実施状況

受験者総数 2, 739人

合格者総数 723人

倍率 3.8倍

校種等	受験者数	合格者数	倍率	H30
小学校	746	272	2.7	2.9
中学校	583	160	3.6	4.3
高等学校	876	143	6.1	6.7
特別支援学校	389	123	3.2	3.0
養護教員	145	25	5.8	6.5 ₇

静岡県教員採用選考試験

◆一般選考

◆特別選考

1 特定の資格や経験を持つ者（教員免許状が必要）

- ・ 教職経験者
- ・ 障害者
- ・ 国際貢献活動経験者

2 特定の資格や経験を持つ者（教員免許状は**不要**）

(1) 高校

- ・ 英語のネイティブスピーカー
- ・ **博士号取得者（理科）**
- ・ 民間企業等経験者（工業）
- ・ 医療機関等勤務経験者（福祉）
- ・ 3級海技士資格のある乗船経験者（水産）

(2) 特別支援学校 看護師経験者

(3) 中学校 民間企業勤務経験者（美術・技術・家庭）

博士号を取得した者を対象とした選考

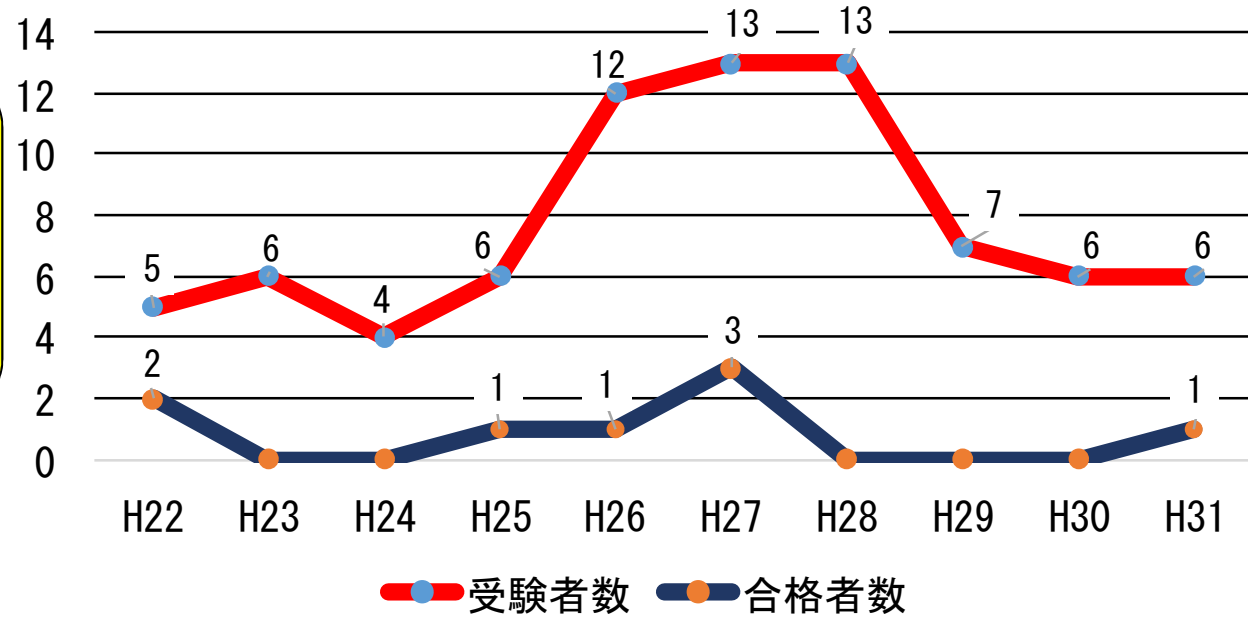
- ◆高校・理科（物理、化学、生物）
 - ◆博士の学位取得済み
 - ◆科学の発展に寄与できる人材を育てる意欲
- ※教員免許がなくても受験可能→特別免許状

名前	科目	取得学位	学位授与日	静岡県採用年	教員免許
教諭A	生物	博士(理学)	2001/3/23	2010 (H22)	有り
教諭B	化学	博士(理学)	2009/3/21	2010 (H22)	有り
教諭C	生物	博士(農学)	2006/3/17	2013 (H25)	有り
教諭D	生物	博士(理学)	2010/3/21	2014 (H26)	なし ⇒特別免
教諭E	化学	博士(環境科学)	2012/3/20	2015 (H27)	なし ⇒特別免
教諭F	化学	博士(工学)	2009/5/25	2015 (H27)	なし ⇒特別免
教諭G	物理	博士(理学)	2004/11/24	2015 (H27)	なし ⇒特別免
教諭H	生物	博士(農学)	2002/3/25	2019 (H31)	有り

10

博士号取得者特別選考（理科）の受験者数と合格者数

単にスペシャリストであることだけを求めているわけではない！



	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	
受験者数(全体)	989	1083	1220	1216	1114	1040	1008	965	944	876	
合格者数(全体)	131	128	141	140	164	162	166	142	140	143	
博士号	受験者数	5	6	4	6	12	13	13	7	6	6
	物理			1		1	1	2	1		
	化学	2				2	2	1	1	2	1
	生物	3	6	3	6	9	10	10	5	4	5
	地学										
合格者数	2	0	0	1	1	3	0	0	0	1	
	化学 生物			生物	生物	物理 化学 化学				生物 ¹⁰	

静岡県が求める教師像

学び続ける教員

- 児童・生徒への教育的愛情
 - 教科等に関する専門的知識
 - 教育者としての使命感
 - 人間の成長・発達についての深い理解
 - 広く豊かな教養
- これらに基づいた実践力

12

博士号取得者を対象とした特別選考（理科）

1次試験

課題作文

筆記試験（~~教職一般教養~~＋教科専門）

面接試験（個人面接） 適性検査

2次試験

小論文 面接試験（個人、集団） 適性検査

課題作文のテーマ

平成31年度教員採用選考試験より

あなたの科学観に基づくと、生徒に最も身に付けさせたい力はどのような力か、第1段落で述べなさい。また、第2段落以降に、その力を育てるために授業の中でどのような指導をするか、具体的に述べなさい。これまでの研究の体験を踏まえて、合わせて800字以内で書くこと。（60分） 12

博士号取得者選考（理科）で採用された教員紹介 教諭 A（生物）

H22から榛原高校で9年 H31に掛川西高校へ異動
どちらも県内有数の伝統校であり理数科設置の進学校

人柄

- ・ 親しみやすく穏やかで誰とでも気さくに話ができる謙虚な人柄。
- ・ 新規採用教員の悩みを聞いたり、冗談を言いあったりしながら成長を見守ってくれた。

クラス経営

- ・ 同僚教員も親しみやすいが、生徒からもとても慕われていた。
- ・ 理系クラスの担任として生徒の話を丁寧に聴き、適切な進路指導ぶりだった。

授業力

- ・ 理科好きになってもらいたいという思いが伝わってくる分かりやすく丁寧な授業展開。
- ・ 生徒が書く「授業振り返りプリント」を見ると、回を追うごとに記述がより深い思考になっていくのが見てとれた。
- ・ 理数科課題研究では、研究者の視点で生徒に助言をしてくれたのでレベルの高い研究につながり、榛原高校の代表として県で発表した。

分掌業務

- ・ 自分より若い教務主任を支え、業務が停滞しないよう細やかな気づかいをしていた。

部活動

- ・ 本来は科学部の顧問として活躍の場を広げるべきだったが、学校事情により男子バレーボール部の顧問をお願いした。その指導に毎日、熱心にあたってくれた。

博士号取得者選考（理科）で採用された教員紹介 教諭 G（物理）

H27から浜松西高校で勤務 今年度5年目

県内有数の伝統校であり進学校 天野浩教授（2014年ノーベル物理学賞）は卒業生

☆校長評☆

- ・ 難関大学の入学試験への対応のみならず、大学入学後の学びを意識して、教科書の記述から最先端の研究へのつながりを分かりやすく示すなど、学問の世界への知的好奇心を育てるものとなっている。
- ・ デジタル教材を自作し、効果的にICT機器を活用するなどして、生徒の主体的な思考を促し、現象の背後にある法則性に気付かせるような深い学びとなる授業を展開している。



☆生徒評☆

- ・ 学習している単元で出てくる物理現象を映像や自作の図で説明し、イメージをつかむことを大切にしている印象が強い。
- ・ 物理現象を英語で説明している映像も見せてくれて、英語の力を試す良い機会となった。
- ・ 原子分野の研究でノーベル賞をとった人たちを紹介しているときに、急に涙をこぼしていた。涙の理由は言わなかったが、研究の苦しみや悔しさのようなものを感じた。私も先生のように研究に熱い気持ちをもって大学での勉強をしようと決心した。

今後の展望、課題(求める人材)

- 特別選考は継続していく見通し
- マッチングと活用（SSH、理数科等への配置）
- 教員としてのキャリア形成
（10年3校、居住地、産育休・・・）
- 教員としての基礎的な資質
（教育的な愛情、熱意、コミュニケーション力）
⇒授業だけでなく、学級担任、校務分掌、部活動顧問など

ご清聴
ありがとうございます
ございました

令和元年 5月14日 (火)

静岡県教育委員会